BIM／CIM講習会と若手技術者意見交換会

国土交通省　北陸地方整備局
金沢河川国道事務所

令和7年2月25日（火）金沢河川国道事務所職員の技術力向上を図るために、BIM／CIMに関する講習会を開催。あわせて建設コンサルタンツ協会の若手建設コンサルタント職員と若手国土交通省職員で「土木の仕事の『たのしさ』を考える」をテーマに意見交換会を実施。

【BIM／CIM講習会】

◆参加者　金沢河川国道事務所職員　18名
　　建設コンサルタンツ協会　15名（指導者含み）

◆実施内容
- 挨拶　金沢河川国道事務所副所長（道路）　太田峰誉
- BIM／CIMの概要説明
- 操作方法の実践

講師：建設コンサルタンツ協会　脇坂　哲也　氏
（大日本ダイヤコンサルタント（株）北陸支社　副支社長）
神原　由紀　氏　人見　淳　氏
（大日本ダイヤコンサルタント（株）技術本部技術企画部技術企画室BIM／CIM推進室）

◆参加者の感想
- 普段見せてもらうだけだったCIMモデルを自分で操作する方法を学べたので、今後の業務でも活用できるようしたい
- DXセンターを使用したことがなかったので、自席のPCでもCIMデータを活用できることがわかり良かった
- 3次元データを使う機会を増やし、いかに日常使いにできるかが課題である

【若手技術者意見交換会】

◆参加者　金沢河川国道事務所職員　13名
　　建設コンサルタンツ協会　15名

◆実施内容
「土木の仕事の『たのしさ』を考える」をテーマに5グループに分かれて意見交換し、グループ毎に出された意見を発表。

◆意見の一例

「将来の担い手確保のため『たのしさ』を広く知ってもらう効果的な方法」
- 大学生までいくと進路が決まっているので、小中高校生を対象とする
- SNSで道路や橋ができるまでの過程をショート動画にまとめて発信
- 能登半島地震の復旧・復興していく姿をSNSで伝える
- まちづくりアプリを開発し、小中学生に土木のたのしさを知ってもらう
- 3Kのイメージを払拭するためにDXやAIを活用していることを情報発信する

「理想の働き方を目指して、どうしたら仕事が『たのしく』なるのかについて」
- 業務の効率化を自分で考え、成功体験を積んでいけるような働き方をする
- 地元説明や開通式等で自分の仕事に達成感を味わえるような仕事をする
- 人手不足が問題で有り、人手を増やす努力と人手を減らさない努力が大事

■BIM／CIMの概要説明

■操作方法の実践

■若手技術者意見交換会